

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
翁長 学	畜産振興の発展の為に、各購売者へのトップセールスを考えていないか	久米島は、和牛子牛の拠点産地に指定されている。しかし、母牛の頭数が伸び悩んでいる。現在、子牛価格が高価格で取引されている。農家の方々も、期待感を持っているので、更なる振興の為に、町としてPRしてほしい。	町長	トップセールスについては、畜産に限らず観光、水産、特産品など産業の各分野で必要だと考えています。畜産については、JAが主体となってセリ開催時に地元でのセールスを行っています。トップセールスについては、時期や方法、その効果などをJAと相談して検討いたします。
仲村 昌慧	不法投棄ごみについて	本町の山や河川、原野、海岸線の防潮林等、至る所にかんりの量のごみが不法投棄されている。宮古島市は、一括交付金を活用して2年間で市内の約8割のごみを撤去したという。本町は不法投棄ごみの撤去についてどのように考えているか伺う。	町長	不法投棄の撤去につきましては環境保全課で出来る限り回収を行っております。また、不法投棄者の特定を行うために久米島交番と合同による不法投棄の回収も行っております。
仲村 昌慧	教員の人事について	今年度の教員の人事については、特に臨任教員の配置が多いと聞いている。育児休暇等で臨時任用として配置することは、必要やむを得ないと理解しているが、教育指導の一貫性や継続性、教育的効果からできるだけ本務配置が望ましい。今年度の人事について、教育長はどう受け止めているか見解を伺う。	教育長	平成25年度教職員人事は、定数内臨時的任用職員の配置割合が高く、指導力・赴任期間等で児童・生徒との信頼関係が構築できるか懸念されます。定数内臨時的任用職員の中には優れた職員もいますが、学校管理者が学校経営の向上を図る為には、本務職員の配置が基本となりますので、次年度の人事について、県に強く本務職員配置を要望します。
島袋 完英	図書館・文化ホールの建設について	新町建設計画の「教育文化の振興」で図書館・文化ホール建設の推進がありません。建設の計画はあるのか伺いたい。	教育長	新町建設計画に掲載されていませんが、久米島町第一次総合計画後期基本計画で教育環境の充実として、図書館の整備方針は盛り込まれていますが、現在、具体的計画はございません。公立図書館は、町民が図書に親しむ場所、多種多様な資料や情報の拠点、地域の教育力の向上支援、地域文化発信の場として、重要な施設と考えていますので整備に向けての協議を図ってまいります。又、文化ホールにつきましては、現在建設計画はございません。
島袋 完英	白瀬川河口、浦地川河口の浚渫について	両河川の河口はあまりにも泥が堆積し、その結果流出した赤土が、ただちに沖合まで広がって行くと思われます。浚渫してできる限り河口で沈殿させ、沖までの拡大を防げるものと考えてどうか。	町長	河口での赤土対策として浚渫は有効ですが、現在、赤土流出の多い箇所に沈砂池の設置、ベチバーの植栽による流出防止対策を進めているところであります。浦地川の上流に沈砂池を県営事業で設置しておりますが水質が良くなっているとの情報もありますので沈砂池の設置、ベチバーの植栽の効果をみながら浚渫について検討していきたいと考えております。
島袋 完英	兼城港の拡張整備について	兼城港は水深が浅く、2千tクラスの船は入港できないようです(水産庁の話)。日台漁業協定発効後台湾漁船への指導や取締りを強化していますが、現時点で取締船が寄港拠点としているのは、宮古島の平良港です。久米島のすぐ近くに協定漁業区域がありながら近くの島に寄港できないというのはおかしいと思えます。2千～3千t級の船が寄港できるように、浚渫、パースの増設を国に要請する考えはないか。	町長	兼城港の水深は5.5m、海上保安庁と地区税関の船舶が支障なく接岸しております。水産庁の取締船は水深7.0m以上必要とされております。現在、水産庁から要請はありませんが、寄港について正式な要請がありましたら、引き続き国県へ浚渫の要請をしたいと考えております。
島袋 完英	旅行者の誘致について	旅行者が撤退し、航空券の購入がJTA空港事務所ではできません。インターネット可能な者はその限りではないが、それができない者は大変不便を困っています。当局は現状のままが良いとの考えか、観光協会に代理店を置くような方法はないか。	町長	インターネットを利用して航空券を購入するものが増えたことや、航空会社から旅行代理店に支払われる手数料が減額され、旅行代理店が航空券購入者から手数料を徴収するようになったことなどから、旅行代理店を利用する者が激減し、平成24年度に中央ツーリストが撤退しました。その後、別の旅行代理店に場所を提供して代理店を置くことができないか打診をしてみました。採算が取れないということで誘致することができませんでした。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋 完英	兼城港からバイパス線までの道路取り付けと字兼城から字大田(砂辺氏宅)までの歩道設置について	県に要請はしたのか。進捗状況はどうか。新興通りの迂回線と合わせて同時に施工するよう要請できないか	町長	平成24年度に町、商工会、建設業協議会の3者による公共事業の採択並びに発注に関する要望においても質問にあります2件については要望しておりますが、未だ採択されておりません。兼城港からバイパス線への取付道の整備につきましては大型車両の兼城港への円滑な乗り入れ、利便性の向上のためには整備が必要な路線であります。また兼城から大田の区間は狭小の片側歩道となっており整備が必要であると考えております。継続して県へ要請していきたいと考えております。
島袋 完英	海拔表示板・避難経路表示板の設置について	「喉元過ぎれば、暑さ忘れる」で、あの震災のことは記憶から薄れつつあるのかなという気がします。各字内への海拔表示板と避難経路表示板の設置はどうなっているか。	町長	海拔表示板と避難経路表示板の設置については、平成24年度に予定していましたが、県において、津波被害想定の見直し作業が行われ、平成25年1月に公表されました。最新のデータを反映させて作成するために遅れていますが、海拔表示板と避難経路表示板及び避難所の標識を今年の7月中に発注する予定です。
島袋 完英	町営バス路線の見直しについて	(1)新興通り近郊にバスセンターを設置する。 (2)センターをハブとして、一周線、イーフ線、空港線を運行する。 (3)空港線はシャトル(30分毎)とし、常に定時運行とする。 (4)空港行き、イーフ行きはセンターで乗り替えとする。 (5)航空機の発着に関係なく定時運行とする。 (6)車両見直しも(大型は不要) 理由:現在の運行形態は無駄が多すぎる。来島者にもっと消費(特に金)をしていただくように色々演出する必要がある。現イーフ・空港線はホテルのシャトルになっていてバス賃以外に消費がない。	町長	現在のバスの利用状況及び赤字運航の実態からして、(1)～(5)は困難だと考えています。(6)については車両の更新時に車種を小型化するなど検討したいと考えています
島袋 完英	前村幸秀人材育成児童・生徒補助金規程の再考について	第3条の(1)(2)の国立大学に限定することは、平等・公平の精神に反することで、しかも、第2条(2)にも反している、是非再考すべきだと思うが	教育長	前村幸秀人材育成基金は、久米島町から優れた人材を輩出する為に活用してほしいとの思いで託された基金であります。国立大学限定につきましては、優秀な成績・優秀な者の位置付けとして審査委員会でも判断し決定されました。又、第2条の(2)についても、国立大学進学支援は、久米島高校の魅力化事業に寄与するとの事で審査委員会でご理解を得ています。尚、成績優秀でありながら諸々の事情で国立大学以外の大学進学でも町長・教育長で推薦し審査委員会でご審査対象となります。
島袋 完英	新設中学校名称の再考について	アンケートで多かった「久米島東中学校」にすべきである。何の為にアンケートを取ったのか。説明にあるような理由だと、元具志川中学校はそれにあてはまらないのか疑問である。それほど歴史的に重みのある名称は1学校の名称にすべきではないと思うが。特定の委員の主張に呼応すべきではないと思う。	町長	統廃合準備委員会では、新しい校名についてのアンケートは実施するにしても、総合的判断の下、校名を決定するとの当初合意があり、結果としてアンケート最多数の校名ではなく、準備委員会の議論により、全会一致で新しい校名が決定されました。久米島西中学校においても、当時の準備委員会の判断で校名が決定して提言されました。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
幸地 猛	町民の健康管理について	(1)町は町民の生活習慣病の発症や重症化を減少させるために特定健診を実施しているが、その現状分析はどうなっているか。 (2)町民の特定健診に対する関心の度合いは。 (3)特定健診の受診率は。その問題点及び具体的な向上対策は。 (4)今後の目標設定はどこにおいているのか。	町長	(1)について、平成23年度のデータでメタボリックシンドローム該当者及び予備群の合計が沖縄県がワースト1、沖縄県の中で久米島町は男女とも23位、また65歳未満の死亡率が沖縄県内で男ワースト10位、女ワースト20位(平成22年度データ)、データからもわかるように日頃から健康チェックをしないで、具合が悪くなれば即入院という人が増えている現状であります。 (2)について、特定健診受診率が48.5%(24年度)から判断すると低いと考えますが、中には健診へ行きたいが「時間がない」、「仕事が休めない」などの方もいる。 (3)について、特定健診受診率は、制度スタート時の平成20年度に35.2%から右肩上がりに伸びて平成24年度は48.5%となっている。問題点として久米島の生活習慣病を患っている現状を如何に理解させるかにあります。対策としては、地域・職場と連携をとって受診率向上に努めてまいります。 (4)について、平成29年度までに60%を目標に設定しています。
山里 昌輝	海洋深層水について	町長としての今後の計画を具体的に。	町長	今後の海洋深層水活用の計画については、複合利用基本調査報告に基づいた展開を図ってまいります。これまでも「車えび」や「海ぶどう」の栽培、「化粧製品」の製造など、複合的に利用していますが、より高度な利活用として「海洋温度差発電」や「植物工場」などを着実に実施していきたいと考えています。現在「海洋温度差発電」及び「植物工場」については実証事業の段階ではありますが、将来的な商用化、産業化を考えた場合、取水量が足りないという現状がありますので、国、県など関係機関と連携しながら諸々の課題をクリアしていきたいと考えています。
平良 義徳	シルバー人材育成について	本町においては、定年後の就業や充実した生きがいの場づくり、及び社会参加の推進が必要であるが、次の事に関して行政協力を要望したいので、町長の見解を伺いたい。 (1)短期的な就業・軽易な業務に係る就業を希望する者に対して、職業の紹介・労働者派遣等の窓口業務を設けること。 (2)就業に必要な知識及び技能の向上を目的とした講習等を実施する事。 (3)シルバー人材センターの設置。以上の3点を要望する。	町長	(1)、(2)については、定年後の皆様就業状況を把握する必要がありますので、今後調査をして対応を考えていきます。 (3)については、町は現在、社協と連携し、障害者への就労支援と生活困窮者への就労支援を行っています。シルバー人材センターについては、必要性を把握し、また運営主体や財源など検討して、対応を考えてまいります。
平良 義徳	シーサイド・パークゴルフ場のトイレ増設について	パークゴルフ場のオープン以来プレーを楽しむ来場者が多く、人気のスポットとなりました。今や親子づれの姿も見受けられます。地域住民では話題になっていますが、反面、不便さもある様です。東側にある管理棟には、トイレも完備されていますが、西側には無い為、特に高齢者の方々がは、不便だと聞いております。パークゴルフ離れの要因とも成りかねないので、西側にもトイレを設置して頂きたい。	町長	当初は計画されておりましたが、夏場の日陰や休憩場所がないためトイレから東屋へ変更されております。今後、必要があれば計画していきます。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	町税(国保税含む)の滞納処分について	地方自治とは住民の主権に基づいて分担し、代表者は創意と工夫によって住民の福祉向上のために、政治を行う仕組みになっていて、住民の分担、納税が行政を支える根幹となっている。よって法律、条例に従って公正に課税されたものでありながら、一部納税者の理解が得られないまま、毎年のように滞納繰越が行われ、結果的に完納者と負担の公平、均衡を阻害することになっている。租税は町民の公共施設や公共サービス、福祉の充実など町民生活の基盤を整備する費用として、公正に分担するものである。本町において町税、国保税の徴収率、滞納者の実態はどうか、滞納整理、滞納処分はどのように行っているのか伺う。	町長	徴収率については、平成24年度速報値ですが、町税現年度分96.3%、滞納繰越分25.2%、国保税現年度分89.4%、滞納繰越分24.92%となっております。滞納者の実態としては、サトウキビの不作による収入減が主な要因だと思われます。滞納整理については、文書催告、電話催告、臨戸徴収により納付を促すとともに分納誓約等により約束をしても履行しない滞納者には、預貯金等の差し押えを実施しており、今後も滞納整理・滞納処分の強化に取り組んでまいります。
玉城 安雄	スポーツ合宿の誘致について	本町の運動公園施設(野球場、ドーム、パークゴルフ)は着実に整備され、町民やプロ野球等のキャンプ等にも利用されていますが、さらなる有効活用について、県内、県外の高校、大学、企業チームにこの施設を利用してもらい、町の活性化につなげていくことが必要だと思います。スポーツ団体の合宿は、宿泊、飲食業者、その他の観光施設の利用による経済効果というだけではなく、町内の小中高生や各団体との交流なども考えられ、島内だけの練習に偏りがちになる子供たちの大きな刺激になると思います。イベントのように一過性のものでなく評判が良ければ次の年もとどんどん広がっていくものだと思う。また悪い評判ができてしまうと来てもらえなくなるものであり、町を挙げての対応が大きく、その成否に影響し心のこもった対応ができるかという事が問題になります。今後、町長はスポーツ合宿誘致についてどのように対応しようと考えているのか伺う。	町長	県内におけるスポーツキャンプ・合宿は野球と陸上競技が中心となっています。野球については、プロ野球、社会人野球、高校野球などで活用されています。今年度から、現在ある施設で対応可能な陸上競技長距離走の合宿の誘致に向けて取り組んでいます。また、野球についても現在利用している団体と時期が重ならない時期に誘致を行って参ります。
玉城 安雄	バーデハウス久米島について	バーデハウス久米島については、過去の一般質問で経営面の問題でたびたび追求され、町長は、島民の健康増進、観光にも貢献しているので単年度黒字をめざし町としては継続して支援すると答弁している。社内においても徹底的なコスト管理、社員教育に努め単年度赤字が年々減少していると報告があるが、施設機器の老朽化によりサービスの低下も言われている。そこで、今年オープン10周年を迎え、今後の運営方針について伺います。観光施設として認知され、町民の健康増進にも大きく貢献し、町長もバーデハウスの必要性を常々言っていますが、開所当時から懸念であるランニングコスト(特に水道光熱費)問題や、10年たち施設機器の経年劣化や、塩害による老朽化の問題等、運営していく面で支障が出ないようにするため整備等の必要性が出てくると思うが、中長期的な計画はあるのか伺います。	町長	バーデハウスの運営については、町民の健康増進及び観光振興の面から大変重要な施設であるとの認識の基で、経営再生計画(H24～H28)をたてて経営健全化に取り組んでいます。施設の老朽化の問題については、機器の更新の予測が難しいことや財政上の問題から経営再生計画の中に具体的に反映されていませんが、障害が起きてサービスを低下させることがないように対応していきたいと考えています。
饒平名 智弘	幼稚園の統合を早急に	久米島町の幼稚園児の人数が減り、学校によって差が大きいと思われる。具体的に各幼稚園の人数はどうなっているのか。今後幼稚園の統合をやる計画はあるのか。私は早急に統合を勧めるべきだと思うが、町長の考えを伺いたい。	教育長	現在、幼稚園児数は、仲里＝21名、美崎＝5名、久米島＝14名、比屋定＝7名、大岳＝11名、清水＝26名、合計＝84名です。次年度以降は、26年度＝84名、27年度＝91名、28年度＝93名、29年度＝80名、30年度＝82名の推移となっています。現在、国において幼保一元化の施策を策定中ですが詳しい方針が示されていません。国の施策・動向を注視しながら関係機関と連携を図り、推進して参ります。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について(いわゆる日台漁業協定等を含む)	<p>鳥島射爆撃場に関し次の項目について、町長の考えと責任所在を伺う。</p> <p>(1)劣化ウラン弾の環境汚染のおそろしさについて、インターネットや本に多くの情報がある。</p> <p>(2)久米島・那覇間の直線コースで100kmなのに、150km以上の遠回り飛行機賃が高く(離島割引以外)苦情が多い。</p> <p>(3)鳥島射爆撃場の年間賃料は186万円。</p> <p>(4)町当局も射爆撃場による経済損失は、年間1億9000万円にのぼるとしている。</p> <p>(5)島周辺は、赤マチ等の高級魚が多く好漁場であるが、町民は島に近づけない。</p> <p>(6)島は山が崩れ、砂礫化し、島が沈むと排他的経済水域が台湾・中国の有利になる。</p> <p>(7)島の20年間契約で、島が沈む可能性が高く復元交渉も困難となる。</p> <p>(8)鳥島射爆撃場を米軍普天間飛行場移設問題とリンクさせた返還運動にすべき。</p>	町長	<p>(1)について、劣化ウラン弾の環境汚染のおそろしさについては、十分認識しています。それらを踏まえて、久米島町では文科省による年1回の放射能検査や町独自の放射能測定を行っています。</p> <p>(2)について、JTAに確認しましたが久米島・那覇間は直線コースだと約100kmありますが、飛行機の離着陸時には航空法により安全を保つために久米島の場合、滑走路から島の南側約11km地点に設定されたドリスポイントを通過しなければならない為、返還されたとしても、必ずしも運賃が100km相当になるとは限らないとのことでした。</p> <p>(3)について、賃借料の額の決定については駐留米軍の使用に供する土地等の損失補償等要綱で定められております。契約期間中に、賃借料の更新は毎年行われる中で、町としては、賃借料の増額要求はしていません。</p> <p>(4)について、約4～5年前の試算ですが、射爆撃場が返還された場合には、島全体が巨大バヤオ的な役割で漁獲高の増やダイビング客の増加を総合的に積算したものです。</p> <p>(5)について、鳥島周辺約5.5kmは常時立入制限水域で沿岸には環礁が発達しており高級魚が多いことから、島に近づけない為漁獲高にも影響が出ていることは否めない事実であります。</p> <p>(7)について、島の20年契約の中で、年に1回島の現状報告や意見交換を行うことになっていることや10年後には再度契約について検討することになっております。</p> <p>(8)について、普天間飛行場の県外移設及び早期返還と鳥島射爆撃場及び久米島射爆撃場の返還が軍転協の最優先事項として位置づけられていますので、引き続き県・軍転協と連携しながら積極的返還について取り組んで参りたいと思っております。</p>
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去とこれに伴う防潮・防風林の植栽について(河川を含む)	<p>私はこれまで、コンクリート護岸の撤去に関し、まず、シンリ浜、シン原、置石及び一文字の撤去を所管である県に、強く求めるべきだと追求して来たが、町執行部は今だに行動しない何故か、又、防潮林や防風林の植栽を町主体でやるべきだと主張してきた。台風の毎の塩害で農作物や山の木々まで立ち枯れさせてきた。サトウキビの害虫であるイネヨトウの天敵はハチであり、そのハチは塩害で巣がつかれなくなったと私は見ている。自然の体系が崩れているのが原因だ。町長は、コンクリート護岸による自然の体系が崩れていくのをどう見ているのか、また対策について伺う。</p>	町長	<p>既存のコンクリート護岸は浸食防止、高潮対策に効果を発揮していると考えております。また台風の際の農作物、山の木々の塩害がコンクリート護岸によるものが明確でないため、撤去要請するのは厳しい状況であります。イネヨトウは、沖縄のほぼ全域で発生しており、その原因は今のところ分かっていません。</p>
宇江原 総清	大原地区の農水兼道の見直しと沈砂地の設置について	<p>大原地区の農道が同時に水路となり、シンリ浜側に集約され、時には赤土を海へ流し、道路が冠水し、危険な状態となる。同農道の見直しと、沈砂地の設置の考えはないか伺う。</p>	町長	<p>沈砂地の設置は耕土流出防止対策事業で実施可能か県と調整中です。水兼農道については冠水を防止することが出来るか沈砂地の設置と併せて検討したいと考えております。</p>
宇江原 総清	スナミー帯の公園化について	<p>同地域には、久米島の遺産である涙石が存在し、近くには、ほう火台もある。また、同地域は以前ヤブツバキ、黒木、キンセンカ等が多く生息し、景観がすばらしかった。涙石を復元させ、同地域を公園化すべきだと思うが町長の考えを伺う。</p>	町長	<p>涙石については、今指定されている石ではないという地域からの話があり、今後の調査も含め文化財保護審議委員会での対応を協議していきたいと思っております。また、安心安全な観光町づくり事業で避難所と兼ねて整備できないか、関係課と調整を図って参りたいと思っております。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	仲里庁舎前の変則的な交差点の早期整備と泊・謝名堂地区の県道の整備を早急に	庁舎前の交差点については、変則的な形状にもかかわらず、県道を横断する歩行者用の信号しか設置されておらず、仲里庁舎及び真謝方面から県道へ進入する交通量が多く併せて泊、謝名堂方面から西進する車両の見通しが非常に悪く、町内で一番危険な交差点であり、整備は急を要すると思う。又、泊、謝名堂までの県道については、歩道の幅員が狭く、歩道に送電用のコン柱が設置されていて、歩行者1人がようやく通行できる状態にある。又、この区間は、宇根地区からの中学生や泊、謝名堂地区の小、中学生の通学路にもなっており、ガードレールの設置も未整備の箇所も多く大変危険な区間で早急な整備が必要だと思うがその対策は。	町長	庁舎前の交差点については県と地権者で数回交渉を行っておりますが合意に達しておりません。5月23日に南部土木事務所所長が来島された際に現場をみてもらい、早急に整備されるよう要請したところであります。また、謝名堂、泊間の歩道拡張については小学校、中学校の通学路として重要な路線であります。今後も引き続き国県へ要請したいと考えております。
棚原 哲也	イーフビーチの安全な海水浴場としての保全策を問う	イーフビーチは日本の渚百選に選定され、町内ではハテノ浜に次ぐ人気の高いビーチであり、大変砂が細かく素足で散策できるビーチであったが、近年では奥武島への海中道路の建設等で海流の変化等が作用し、海面下の砂の移動が激しく、サンゴの欠片が散在し、素足で歩けない状態にある。これから海水浴シーズンにはいるため、怪我人が出ないうちに改善する必要があると思うが対策はどう取るのか伺いたい。	町長	イーフビーチの保全については、砂の流出防止策と復元について専門家による調査を行った上で慎重に行う必要があります。当面は、水域を特定した危険物の除去や注意喚起を行うなどの対策を取るようホテルや観光協会などと連携して行います。
棚原 哲也	イーフビーチB&G施設東海岸の放置されているコンクリート片の撤去について	24年3月の定例会での質問に対し予算も含め検討する、同年12月の定例会での質問に対し、現在撤去及び処理の見積もり依頼中との答弁をされているが、撤去の目処はついているのか伺いたい。	町長	厳しい財政状況のもと、単費での執行となるため予算の確保は未だ出来ておりません。今年度中に予算を確保し執行します。
棚原 哲也	町内で飼育している家畜や、犬猫等ペットの終末処理について	牛や豚等の大型家畜や犬猫等のペットが死んだ場合の処理について、行政として把握しているか、又、家族同様(愛玩)している、ペット等については、専用の焼却施設が必要だと思うがどうか。	町長	家畜が死んだ場合の処理については、ほとんどが畑に埋葬しているものと思われます。ペットが死んだ場合の処理については、飼い主が処理を行っていると思います。焼却施設については、現在町で専用の焼却施設を設置する計画はございません。
崎村 正明	グリーンビュー阿里的維持管理計画は	グリーンビュー阿里的維持管理計画は	町長	グリーンビュー阿里的の維持管理については、担当課が定期的に巡回し草刈り等を行うべきであります。現在雑草等が生い茂っている状況で地域の生活環境にかなり悪影響を及ぼしていることは事実であります。今後は環境保全課と調整を図りながら維持管理をしていきたいと考えています。
安村 達明	鳥島射爆撃場返還問題について(劣化ウラン弾)	鳥島射爆撃場返還問題について(劣化ウラン弾)	町長	平成7年と平成8年に在日米軍の航空機が鳥島射爆撃場での訓練中に劣化ウラン弾の誤射事故問題に関し、文部科学省は平成9年から平成14年の5年間にわたり久米島及び鳥島周辺において海水、魚類、海草及び空中汚染の環境調査が実施されております。その報告書が平成14年に町に提出され、鳥島周辺環境への影響はない旨の報告を受け町民への説明会も行われております。その後につきましては、文部科学省の委託を受けて財団法人日本分析センターが年に1回継続して調査を行っています。日本分析センターは環境放射能・放射線に関する分析専門機関として設立されており、分析結果は信頼できるものと思います。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
安村 達明	コンクリート護岸撤去(潮害)問題について	潮害により、農作物や防潮林等の被害については、どのような調査機関等に依頼し、護岸や波消しブロックが不要であるとの根拠を見いだせないとしたのか、私としては調査に対しては、理解しているつもりだが、あらためて調査のあり方に対して納得できる説明を伺いたい。	町長	コンクリート護岸による潮害調査については県へ問い合わせましたが調査実施した情報は持っていないとのことであり調査方法も確立されていないと考えております。町においてもコンクリート護岸による潮害調査は実施しておりません。
安村 達明	日台漁業協定締結について	国は中国封じに台湾を取り込むため、沖縄を犠牲にした。尖閣問題で中台が連携するのを封じ込めるため、まさに国益を重視して取った措置だが、沖縄は戦中、戦後と国策に翻弄され続けて来た、これこそ国の沖縄差別だと思ふ。国が台湾と協議中だが漁民の現状の状況では操業に支障が出てくると思われる、協定適用前に台湾船とトラブルが生じたときは、漁協だけでは対応できないと思ふが、町としてはどう対処していくつもりかその方針を伺いたい。	町長	日台漁業協定が操業ルール未定のまま5月10日から運用が開始されました。協定の結果、日台双方が相手漁船を取り締まらずに操業できる「法令適用除外水域」では、海上保安庁や水産庁の船が権限を行使できなくなりました。操業ルールを定めないまま漁船を出せば、トラブルに巻き込まれる可能性が逆に高まってしまい、沖縄の漁業者は漁船を出せない状況にあります。町としては、沖縄県や漁協などと連携して協定の見直しや操業ルールの早期策定を求めて参ります。